

さいくさ小児科

病児保育だより

夏休みは健やかに過ごせたでしょうか。まだまだ暑い日が続きますので、熱中症対策も含めて健康管理が大切な時期です。コロナウイルス感染症(COVID-19)が再流行してきています。また百日咳の流行も持続しています。手洗い・うがいなど感染対策を行いながら、新学期を元気に過ごしましょう🎵

今月のテーマ

アデノウイルス感染症とは？

アデノウイルスは乳幼児の呼吸器系感染症の主要なウイルスです。型によって症状は様々で、咽頭炎、肺炎などの呼吸器症状が強いものや下痢をするものもあります。

主な症状は？

・咽頭炎、咽頭膜熱(プール熱)

38℃～40℃近い発熱を5日間ほど繰り返し、のどの痛みを伴います。眼やに、眼の充血を伴えば、咽頭結膜熱といいます。



・流行性角結膜炎(はやり目)

眼の充血とまぶたの腫れ、涙、目やにがでます。



治療方法は？

- ・咽頭炎・プール熱の場合は抗菌薬の治療は効きません。咳や鼻水などへの対処療法がメインとなります。
- ・はやり目の場合も有効な点眼薬はありません。専門的な治療が必要なことがあり、眼科の先生にご紹介することもあります。

いつまでお休み？

- ・咽頭炎・プール熱の場合は熱が下がって丸2日経つまでお休みです。
- ・はやり目の場合は明確な基準はありませんが、眼の発赤や眼やにが消失するまでお休みです。

家庭内での発症に注意

- ・感染力が強いので手洗い、うがいなどを徹底してください。
- ・特にはやり目は非常に強く、手についたウイルスが目に入ることで感染するので、タオルの共有をさけて十分な手洗いをしましょう！



8月の病児保育では水ぼうそうやRSウイルス感染、感冒のお子さんなどがみられました。

さいくさ小児科

病児保育室 0956-39-1005
お気軽にお問い合わせください😊